

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	一般社団法人 武蔵小杉エリアマネジメント
-----	----------------------

取組の名称	① パパママパークこすぎ ② ふらっとーく
実施場所	① 小杉こども文化センター ② ニッセイ・ライフプラザ武蔵小杉
対象地域	武蔵小杉駅を中心とした各路線2駅までの範囲
対象地域の特色・課題	再開発によって高層マンション（現在 13 棟 7,200 世帯さらに 3 棟建設予定）が建てられ、人口増加とともに子育て世帯と子どもたちの人数が年々増えてきています。マンションに居住する住民と地域住民との融合による「安全安心のまちづくり」「困った時に助けてくれる隣人がいるまちづくり」をめざし、コミュニティ形成に重点を置いた活動を継続していく必要性があります。
取組の趣旨・目的	コミュニティ形成の中で親と子の育ちを応援します。 武蔵小杉駅周辺に居住する子育て世代・子どもたちの交流促進を図り、育児不安の解消や友達づくりができる安全安心な居場所としてパパママパークこすぎを利用して、若い世代が自分の地域に関心を持ち、助け合い支え合いができる“マンション特有の孤立した子育て家庭”にしないような関係性が持てる人と人の繋がりをめざします。
実施内容・実施スケジュール	

親子ふ

れあい交流

① パパママパークこすぎ (第2水曜日開催)

会場：小杉こども文化センター集会室

1部 10:00～10:50 ねんねクラス

2部 11:00～11:50 ハイハイ・あんよクラス

各クラス 10組 予約制 ※申込多数の場合は抽選

※小杉こども文化センターと共催事業 申込受付は小杉こども文化センターが担当します。

【内容】専門職によるミニ学習会、ママ'sトーク(おしゃべり)、手遊び・絵本タイム、季節の行事、地域情報発信など。中原区役所地域みまもり支援センターに講師派遣依頼。

【ミニ学習会実施】

参加組数

月	講師職種	内容	1部	2部
4/12	スタッフ	ママ'sトーク	9	9
5/10	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	4	6
6/14	保育士	ふれあい遊び	7	8
7/12	保健師	熱中症対策・育児相談	5	7
8/9	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	4	7
9/13	歯科衛生士	乳歯と歯みがき	8	10
10/11	保健師	育児相談	7	8
11/8	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	10	9
12/13	管理栄養士	離乳食	8	10
1/10	ハーブティー専門家	ハーブティー講座	7	8
2/13	保育士	子どもの事故予防	8	4
3/13	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	12	10

合計1部(89組) 2部(96組)

パパとママがホッとでき子どもたちが安心して遊べる居場所の提供、育休中に地域と繋がれるよう様々な情報を発信。



② ふらっとーく (第1水曜日開催) 5月1月休み  
 会場：ニッセイ・ライフプラザ武蔵小杉 定員6組  
 気軽にこどものことや地域の出来事などを自由になんでもおしゃべりができる交流の場。おしゃべりすることでストレス解消やスタッフとのコミュニケーションを図ります。遊びのスペースでお子さんを遊ばせながら簡単なワークショップや折り紙工作などを取り入れました。定員を少なめにし、より近い関係づくりを目指しました。

【内容】

※5月・1月休み

月	内容	参加組数
4/5	ママ's トーク・離乳食、夜泣きの対応	7
6/7	ママ's トーク・育児相談	4
7/5	ママ's トーク・七夕工作	3
8/2	ママ's トーク・保育園選びのコツ	5
9/6	ワークショップ (手作りアルバム)	5
10/4	ママ's トーク・生活リズムについて	2
11/1	ママ's トーク・ハザードマップの見方	2
12/6	ママ's トーク・地域情報発信	3
2/7	ワークショップ (手作りアルバム)	4
3/6	ママ's トーク・保育園入園までの準備	5

合計 40 組

☆中原区の施設やイベント、観光スポットを紹介



参加者の感想：月齢の近いママさんたちと、現状の悩みを相談し合えて良かったです。リフレッシュ出来ました！

参加者の年代	2ヶ月～1.5歳 保護者 30～40歳	定員 (1回あたり)	各10組 (パパママパーク) 6組(ふらっとーく)
実施頻度	パパママパーク月1回 12回×2部制 ふらっとーく 月1回 10回(5月1月休み)	活動日数 (年間)	40日
スタッフ体制	<p>登録ボランティアスタッフ 11名を LINE 日程調整を活用し出席を募りました。</p> <p>① パパママパークこすぎ2部制 1回 6～7名 ② ふらっとーく 1回 2～3名 ③ 小杉こども文化センター行事協力1回 1名</p> <p>☆スタッフの個人負担軽減のため役割分担制を導入</p> <p>a. サロン司会進行役を当番制で全員参加 b. ボランティア出席調整・スタッフ連絡・情報発信等担当 c. サロン進行表・活動報告書・各種会議資料・申請書類等の作成担当 d. 会計・事務所問合せ窓口担当 e. 区役所子育て支援ネットワーク委員担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ自身の健康管理を心掛ける</li> <li>・情報共有(スタッフ LINE で情報交換)</li> <li>・SNSを活用した広報強化: エリマネ HP、マンションデジタルサイネージ、Twitter、Instagram、Facebook による開催告知&amp;活動報告を発信。</li> </ul>		
連携する団体・連携の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中原区役所地域みまもり支援センターとの連携により、専門職(保健師、保育士、栄養士、歯科衛生士)を派遣していただき、育児相談や窓口紹介、地域情報発信など順調に進みました。</li> <li>・小杉こども文化センターとの共催事業で、パパママパークこすぎの知名度アップ・好立地により広範囲から参加する親子が増えてきました。</li> <li>・絵本セラピスト&amp;絵本講師の「親子で楽しむ絵本時間」が好評でシリーズ化しました。</li> <li>・小杉こども文化センター運営協議会委員として、会議・こどもまつり・大掃除などに参加協力しました。</li> <li>・中原区総合子どもネットワーク(ボランティア部会)委員として、会議、ワークショップ等に参加協力しました。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかはら子ども未来フェスタに参加し、パネル展示&amp;冊子掲載でパパママパークこすぎの活動紹介をしました。</li> <li>・エリマネホームページ、マンションデジタルサイネージ、Instaram 等 SNS を活用して開催告知と活動報告をおこないました。</li> <li>・中原区役所と連携して、区役所発行子育て情報誌「このゆびと～まれ」「地域子育て情報カレンダー」「区役所ホームページ」等で活動情報を発信しています。</li> </ul>
<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県柏市柏の葉ふるさと協議会より「高層マンション群での多世代のつながりづくり」というテーマの講演依頼があり、武蔵小杉駅周辺タワーマンションエリアの子育て支援活動を紹介しました。</li> <li>・人と人の繋がりのある温かいまち「困ったときに助けてくれる人がいる」「安心できる居場所がある」等まちづくりの一環として 2008 年からパパママパークこすぎの活動を継続してきました。地域イベント（カレーフェス）でスタッフの連携プレーを活かして約 1000 食分のご飯をプレートによそう手伝いなどで貢献することができました。</li> <li>・1歳を過ぎてそろそろ子育てサロン卒業を迎える親子の次の行き場所として、子育て自主グループや支援活動団体の紹介など最新情報を伝えられるように地域ネットワーク強化を図っていきたい。</li> </ul>